

東西宗教思想の伝統と現在 I

於 上智大学 7号館 14階 特別会議室

3月16日(土)

14:00 講演 I 横山 龍頭 【鶴見大学仏教文化研究所特任研究員】(司会 田中 裕)

禅思想における実存とその在処 — 道元の嗣法論を手がかりとして —

15:10 ~ 15:50 質疑応答と集中討議

16:00 講演 II ホアン・アイダル 【上智大学神学部教授】(司会 長町 裕司)

エマヌエル・レヴィナスの哲学における神についての思考

17:10 ~ 17:50 質疑応答と集中討議

3月17日(日)

11:00 講演 III 阿部 仲麻呂 【東京/福岡カトリック神学院講師】(司会 長町 裕司)

京都学派の宗教哲学の限界と可能性 — ギリシア教父の受肉論による検証 —

12:10 ~ 12:50 質疑応答と集中討議

14:15 講演 IV 大松 久規 【愛知学院大学専任講師】(司会 横山 龍頭)

凡夫を救う実践行動哲学としての『摩訶止観』

15:25 ~ 16:05 質疑応答と集中討議

どなたでも 御来聴大いに歓迎!! 聴講無料。

主催：上智大学 重点研究『グローバル化の動向に直面しての〈宗教的靈性〉の刷新的適応と心の倫理』の統合的構築』(代表：長町 裕司)

後援：上智大学 宗教哲学・宗教思想研究会